



福島支部第33回定期大会開催

組合員のための運動で新生東労組を全組合員で創り出していくことを確認



7月28日、福島市の「コラッセ福島」5階研修室において福島支部第33回定期大会が開催され、向こう一年間の運動方針が決定しました。

安田委員長は挨拶で国鉄改革はマイナスからのスタートだった。会社の安定的な一流企業にした

たのは東労組の力も大きかったとおもっている。本部も地本も「新生・東労組」としてのスタートを切った。支部も運動に共感していただけるよう共に奮闘していくと挨拶がなされました。

また質疑応答においては東労組運動を再生させ、そしてこれまでの東労組運動に対しての誤りに対する指摘、そして現在職場において発生している問題など、それぞれの立場から発言がなされました。

書記長総括答弁においては組合員の皆さんで悩みながら東労組に残っていただいている70名の仲間の期待にこたえる運動をつくり出し、東労組再生に向けて2度とこのような組合員を路頭に迷わせる方針を出してはならないためにしっかりと組織強化拡大をしていくとの答弁がなされました。

新生東労組の新たな船出に全組合員で向き合い、組合員のための運動をつくり出していきましょうではありませんか！



福島支部第33回定期大会 ご来賓の皆様

- ▽JR東労組中央本部 組織研修担当部長 佐藤英樹 様
- ▽同仙台地方本部 書記長 尾形豊 様 業務部長 湯ノ目勝 様
- ▽同福島支部OB会 会長 紺野信一 様 ▽福島県議会議員 紺野長人 様
- ▽福島市議会議員 羽田房男 様 ▽連合福島 福島地区連合 会長 成田威文 様
- ▽東北労働金庫 福島支店長 鈴木政彦 様
- ▽全労済福島推進本部 福島支所長 片平敦 様